



広報

2月号

にのみや

第367号 発行日 平成5年(1993年)2月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町総務部企画室 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願う、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

21世紀の二宮町を見つめて...



2002年を目標にスタート

「優れた都市機能と、文化を備え、豊かな自然に恵まれた町」を目標として、昭和五十八年度にスタートした「第二次二宮町総合計画」は今年度が最終年度となつていきます。そこで、激しい社会の変化に対応し、二十一世紀にふさわしい湘南にのみやを作るため、町の将来像を「人

と自然を思いやる 文化と活力に満ちた湘南にのみや」とした新しい総合計画を策定しました。名称を「二宮町新総合計画」とし、目標年度を平成十四年度(二〇〇二年度)に置いたこの計画を柱に、今後の町の事業が進められていきます。

二宮町新総合計画を策定

新総合計画の策定にあたり

一宮町長 西山喜徳郎

昭和五十八年に策定しました、現在の第二次総合計画の計画期間が三月で終了となりますので、今回二十一世紀に向けた新しい二宮町をつくるために、町民のみなさんと専門委員のご意見、県との協議等をふまえて第三次計画としての「二宮町新総合計画」を策定し昨年十二月に町議会で議決を頂きました。

新総合計画では、町民のみなさんと行政の共通目標としての将来像を「人と自然を思いやる文化と活力に満ちた 湘南にのみや」と定め、四月からスタートします。

本町は京浜地域への通勤圏にあり、自然環境に恵まれ気候温暖で住みやすいところから、住

最後に、計画策定にあたりご協力を頂いたみなさんに、厚くお礼申し上げます。

計画策定の目的

町では、昭和四十八年に「二宮町総合計画」、昭和五十八年からは「第二次二宮町総合計画」を策定し、これを基本に町政の推進を図ってきました。

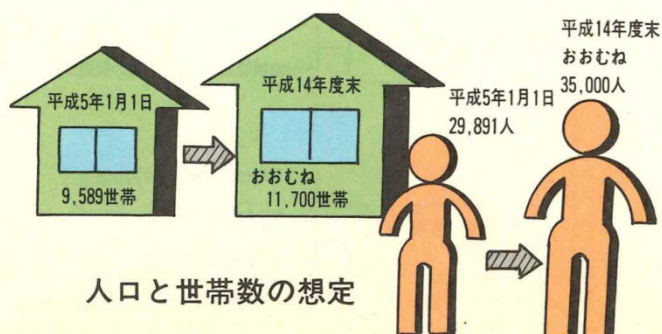
この間、社会は急激に変化し、高齢化、高度情報化、国際化など町をとりまく環境も大きく変化しました。自然環境の保護や地球の環境問題、資源保護など町民生活とかわる問題も深刻化しています。

そのため、これからのまちづくりは、一自治体の範囲を越えた、広い視点からの取り組みが必要となつていきます。そこで、二十一世紀にふさわしい新しい二宮町を創っていくために、長期的な視点に立った新しい総合計画を策定することになりました。

リフレッシュ

湘南にのみや

関連記事二・三面に続く



文化と活力に満ちた 実現に向けて

新春ロードレース大会より



二宮町新総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層計画で構成され、それぞれの計画期間と役割が定められています(別表参照)。ここでは、長期的な視点でまちづくりの将来像と、それを実現するための施策の大綱を示した「基本構想」の概略についてお知らせします。

二宮町の将来像について

新総合計画では、二十一世紀に向けて二宮町の進むべき方向を「①豊かな自然を保全し、その中で快適な都市環境が調和した美しいまち、②子供から老人まで町民すべてが、健康で快適な生活を送れる人間性あふれるまち」としました。

この基本方向に向けて、町民のみなさんと行政が一体となり、共通の目標に向かってまちづくりを進めていく必要があります。

そこで、町民のみなさんが地域社会でいきいきと生活を営み、様々な活動を通じて、未来に向かって発展していくまちづくりをするため、二宮町の将来像を「人と自然を思いやる 文化と活力に満ちた 湘南にのみや」と決めました。

将来像実現のために

町の将来像を実現するために次の四つの目標を施策の大綱として設定しました。身近でわかりやすい町民のみなさんと行政の共通目標として、共に推進していくこととします。

人と人とがやさしく 心のかようまち

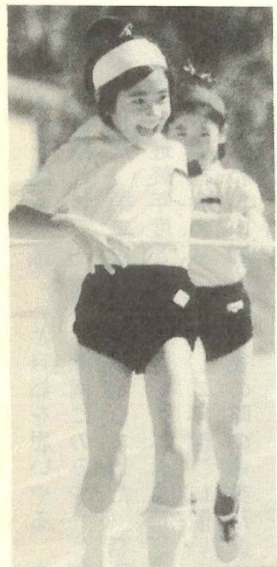
高度化・複雑化する
行政サービスへの需要

近年、核家族化および高齢化が急速に進んでいます。この結果、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りが増えることが予測されます。さらに女性の社会進出、価値観の多様化により、いままでの生活様式が変わってくると思われられます。

このようなことから、行政サービスの需要はますます高度化し、かつ複雑化しています。

高齢化社会への対応

高齢化社会を迎えるにあたり地域での助け合いの中に、町民



明日をになう子供たちが
すこやかに育つように

健康は幸せの基本

幸せな家庭生活を営むための

お年寄りや体の不自由な方に心のかもった思いやりのある適正なサービスを提供するため、総合的な保健福祉サービスシステムの確立を図り、保健、福祉、医療、生きがいに配慮した施策を展開します。

保健福祉サービス
システムの確立

のみなさんの積極的な参加が必要となつていきます。行政と共に町民、地域団体のみなさんの社会参加を拡大し、町民総ぐるみ参加活動」を推進して、地域の基盤を強固なものにします



人と人とのふれ
あいを大切に

ともに学び、子供も すこやかに育まれるまち

生涯学習の環境づくり
人生八十時代を迎え、生涯学習に対する要求は、質的にも

量的にも大きくなっています。すべての町民が、いつでもどこでも学習ができるように環境づくりを推進します。

生涯にわたる学習・スポーツの継続性がはかれるようにするとともに、家庭教育・学校教育・社会教育が有機的に結ばれるよう推進します。

子供たちのために

二十一世紀をになう子供たちが、よい習慣や常識を身に付け、社会の一員として健やかで思いやりのある人間として育つよう、様々な教育機能の連携を充実、強化します。

文化活動を支援

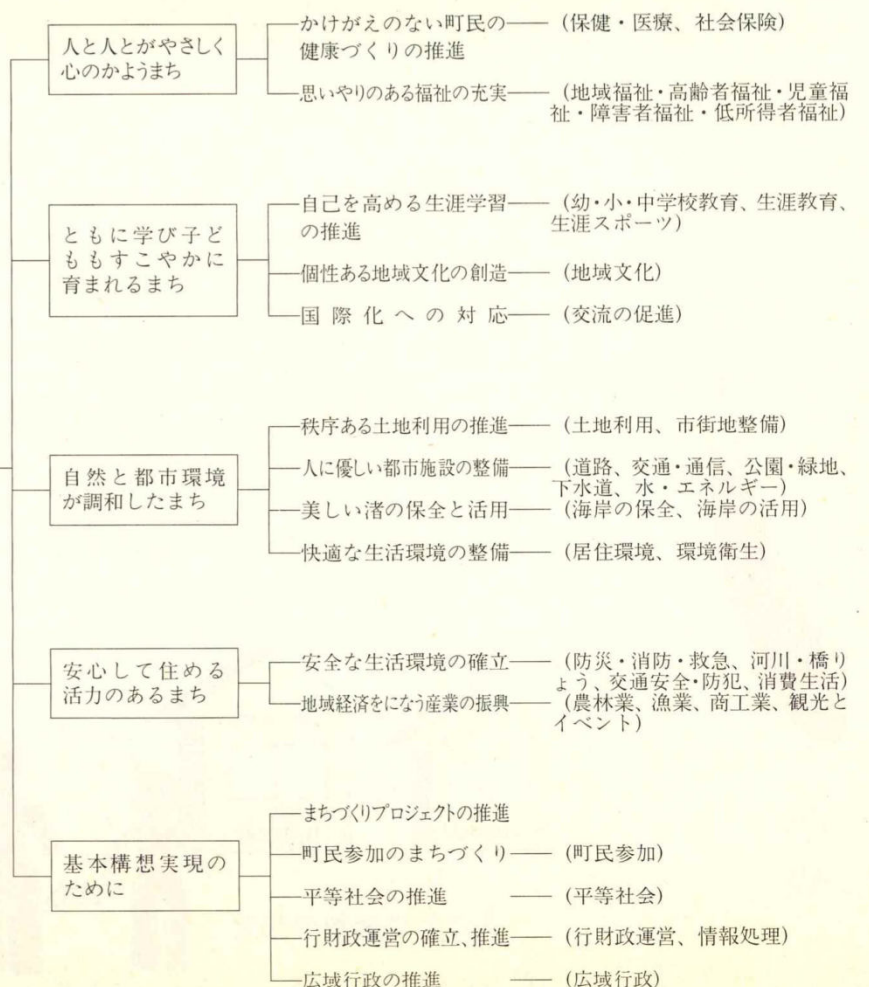
余暇の増加や生活様式の多様化に伴い、物質的な満足から精神的な満足重視する傾向が強まっています。

人と人とのふれあいと様々な

計画の構成と役割

計画の構成	計画の期間	計画の役割
基本構想	平成5年度～平成14年度 (1993年～2002年) 10年間	長期にわたるまちづくりの将来像とそれを実現するための施策の大綱を示します。
基本計画	平成5年度～平成9年度 (1993年～1997年) 5年間	基本構想を実現するための施策の方向と主要事業を示します。
実施計画	平成5年度～平成7年度 (1993年～1995年) 3年間	基本計画に示した施策の方向にそって主要事業等の具体施策を定めるものであり、毎年度の予算編成の指針となります。

二宮町新総合計画の構成表



人と自然を思いやる 文化と活力に満ちた 湘南にのみや

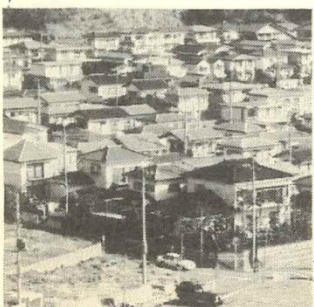
町では、町内全域を「都市計画区域」に指定し、計画的な土地利用を進めてきました。これからも、変化する社会・経済状況に適切に対応しつつ、目標実現のためより計画的な土地利用を目指します。

①自然環境の保全と活用
二宮町の恵まれた自然を子孫に残すため、自然環境保全地域や吾妻山周辺、および海や浜、松林の保全を行うとともに、多面的活用を図ります。

②農業的・工業的・商業的の健全な発展を
農業経営の健全な発展を図るため、農業生産基盤の整備、農業振興地域および農用地区域の見直しを行い、土地の合理的利用を推進します。

③市街地整備の推進
変化する社会、経済状況に対応し、町の活性化を促し自主財源を確保するため

土地利用の考え方



に、計画的な市街地整備を推進します。

④工業系の土地利用
均衡のとれた町の発展を図るため、自立できる町を目指し、ハイテク汚染など公害のない研究機関を含む、工業系地域の適正配置に努めます。

湘南にのみや

文化活動を支援するため、文化施設の整備や文化遺産の保存と活用、情報提供などの充実を図ります。

国際化社会への対応

わが国の国際化の進展は著しいものがあり、経済・社会・文化などあらゆる面で影響を受けています。

そこで、みなさんに豊かな国際感覚と相互理解を深めて頂くため、国際交流などを推進し、国際化や平和への対応を図ります。

自然と都市環境が調和したまち

「自然を守る」を基本に自然は次の世代のために守り、引き継いでいかなければならない「貴重な財産」です。

二宮町の恵まれた自然を守りながら、良好な都市環境をつくるための基本構想を確立して、適正な土地利用の推進を図ります。

快適な環境づくり

住みやすく、安全で快適な町民生活の環境をつくるため、道路、公園、下水道などの都市基盤整備を引き続き推進します。

また、住宅と工場の混在解消に努め、良好な都市環境を確保するため、工場の再配置などを促して、土地利用の適正化を促進します。

海・浜・緑を保全

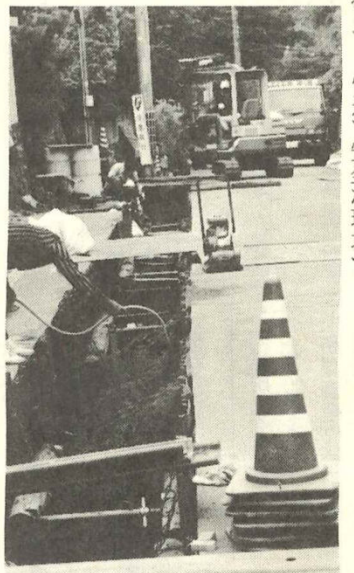
海・浜・保安林の保全対策に努め、海・浜利用の秩序づくり、砂浜の侵食防止や海岸の松林の保全を推進します。

緑の保全としては、吾妻山などをナショナルトラストの基金を利用し、山から海にかけて緑ベルトラインを確保し、公共財産として保全できるように努めます。

ゴミの減量・資源化

二宮町は、長寿の里にふさわしく公害の少ない町として発展してきました。これからも、ゴミの減量化対策や資源化率を高く

めるシステムづくりを積極的に推進して、快適で安全な環境づくりに努めます。



快適な環境を守るため下水道工事が進められています

安心して住める活力のあるまち

事故や犯罪のないまちに

都市化の進展に伴い市街地の過密化、交通量の増大、町民の連帯感の希薄化などによる、人為的災害の防止に努めます。

このため、交通安全施設の整備や防犯体制の確立を図り、事故や犯罪のない明るいまちづくりを、関係機関との連携のもとに推進します。

災害に強いまちづくり

発生が予想される東海沖地震や西部地震を踏まえた防災対策の対応を図り、地域ごとの防災施設や避難道路の整備を促進します。

魅力ある商店街づくり

サービス機能の充実した魅力ある商店街をつくり、商業振興に努めます。

このため、既存市街地の工場跡地を有効利用するための整備を進めたり、駅周辺の交通動態を的確に見通した、交通安全施設の整備を図ります。

特性を生かした産業振興

農林漁業が魅力ある産業となるよう誘導を図り、生鮮食品の自給力の維持、向上のため生産基盤の整備を進めます。

また、地域特性を生かした農林漁業の振興を町民と一体となつて推進します。

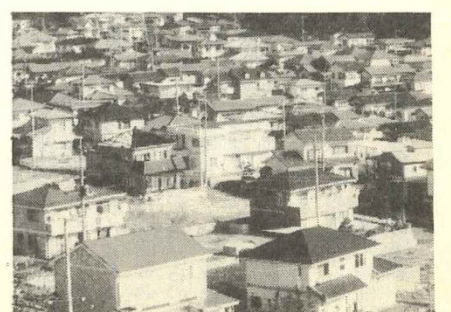
恵まれた自然を生かした観光資源の活用

緑深い山や青い海など恵まれた自然環境を生かし、観光資源の活用とネットワーキングを進めます。

また、楽しいイベントの開催なども進め、町民と近隣住民の観光の場、レクリエーションの場として、魅力的な空間づくりを推進します。

構想実現のための留意点

町では、これまで紹介した構想を実現するにあたり、次の点に留意しながら、町民のみなさんと一体となつたまちづくりを推進していきます。



を含めた啓発事業を進めていきます。

行財政運営の確立を推進

諸施策を実現するために行政組織、機構改革を確立し、減量経営、事務事業の改善、情報機器の活用などを積極的に推進していきます。

民主的、効率的な行財政運営を行うために行政体質改善、職員意識改革を進めます。

また、長期的財政計画のもと自主財源の確保、受益者負担の適性化、超過負担の解消、基金の活用などを図ります。

まちづくりプロジェクトの推進

町の将来像である「人と自然を思いやる 文化と活力に満ちた 湘南にのみや」を創造するため、リーディングプロジェクトをつくり、まちづくりの重点施策として取り組んでいきます。

広域行政の推進

交通や通信網の発達により、町民の活動範囲は行政区域を越えて拡大しています。他市町村から二宮町への活動も活発化しており、市町村の区域を越えた広域的な生活圏が形成され、様々な行政課題が発生しています。これらの問題に対処するため、広域行政に力を入れていきます。

5つのポイントを押さえて…

町民参加のまちづくり

町民のみなさんの参加と協力を得て、まちづくりをしていくために、町民の声を幅広く聞き取る「広聴活動」や、町政の情報を早く伝える「広報活動」の充実を図ります。

なお情報の提供に際しては、町民のプライバシーや公益が損なわれることがないよう配慮します。

平等社会の推進

基本的な人権が保障された、差別と偏見のない社会の実現に努めます。お互いを尊重しつつ自由、平等に生きる社会をめざし、特に人権侵害を受けやすい人々の人権が守られるように、教育



町の将来像である「人と自然を思いやる 文化と活力に満ちた 湘南にのみや」を創造する

ため、リーディングプロジェクトをつくり、まちづくりの重点施策として取り組んでいきます。

広域行政の推進

交通や通信網の発達により、町民の活動範囲は行政区域を越えて拡大しています。他市町村から二宮町への活動も活発化しており、市町村の区域を越えた広域的な生活圏が形成され、様々な行政課題が発生しています。これらの問題に対処するため、広域行政に力を入れていきます。

新総合計画ができるまで

町民のみなさんと行政の共同作品

行政の課題等について現状の把握に努める

総合計画諮問委員会(民間の方六名で構成)にて、新総合計画の方針等について検討

町長と総合計画の基本的な考えについて打ち合わせ



地区懇談会を開催(町内8か所、220人が参加)

住民意識調査の実施(二十歳~六十歳の町民千人無作為抽出)および四十二の団体に対してアンケート調査を実施、内五百八十七枚を回収



総合計画審議会より町長に総合計画答申書を提出

十二月定例町議会にて、新総合計画が議決される

手数料一覧表

固定資産税関係	評価証明 公課証明 不動産証明 課税証明	所有者(個人名義、共有名義、納税管理人設定等すべて別々)ごとに 1枚200円	土地・家屋は1枚の用紙に5つまで表示できます
	名寄帳写し	同上	土地は8筆、家屋は5つまで1枚の用紙に表示できます
	納税証明	同上	
町県民税関係	所得証明 課税証明 非課税証明 納税証明	1枚200円	
軽自動車税関係	納税証明	無料	

※土地の筆数や家屋の棟数が多い場合は、電話で事前に手数料をご確認ください。

戸籍謄本・住民票の写	住民票の写	1枚200円	6人以上の場合400円
	戸籍謄(抄)本	1枚400円	

電話予約による住民票発行



受取りは本人または同居の親族が、日直の窓口で土曜日の午前8時30分～正午の間に引き換えます。住民票の写しをお渡しします。

③日直窓口で申請書に記入、押印して頂きます。

②予約した週の土曜日、午前8時30分～正午の間に、役場の日直の窓口駐車場に向かう坂に面するに、必要な持ち物を確認のうえお越しください。

①木・金曜日の午前8時30分～午後5時の間に電話で住民福祉課へ申し込む。
※電話予約は住民票の写しのみ

受け取り時の持ちもの
○印鑑 ○現金(手数料) ○身分の証明できるもの(運転免許証・健康保険証など住所氏名の確認できるもの)

申込み・問合せ

二宮町二宮九六一
二宮町役場

税関係の証明等...税務課資産税係(内線二二七)
住民票の写し等...住民福祉課戸籍年金係(内線二二三・二二六)

○申請書(様式はご自分で作っても結構です)…注① ○返信用封筒 ○手数料…注② ○代理人選任届(本人や同居の親族申請時および不動産証明、軽自動車納税証明の申請時は不用)

- ①申請書に必要事項(注①)を記入し、印鑑を押してください。
- ②返信用の封筒にあなたの住所・氏名を書き、62円切手をはってください。
- ③封筒にあて名を記入し、申請書、返信用封筒、手数料(注②)、代理人選任届(必要な場合)を同封のうえ、役場あてに切手をはってお出ください。
- 注①:記入する必要事項は事前に電話で、お問い合わせください。
- 注②:手数料は現金書留もしくは、郵便局の定額小為替をご利用ください。

郵送による請求

町役場は2月より毎週土曜日が

休みになりました

休日や夜間でも証明書等が申請できるよう、役場正面入口に申請書を入れる記載台付きの箱を設置しました。受け付けた申請書は、申請日の翌日か休日の翌日に処理をして、申請者に郵送します。
※本人および同居の親族以外の人が申請する場合代理人選任届が必要で

申請の手順

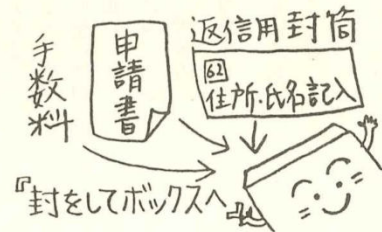
①ボックス備え付けの申請書に必要事項を記入し、印鑑を押してください。

代理人選任届

代理人住所 _____
氏名 _____
私は上記の者を代理人に選任し、下記の件につき、その権限を委任したので届けます。
(証明書名等を記入)に記入すること
平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
本人住所 _____
氏名 _____
二宮町長 殿

休日夜間申請受付ボックス

②返信用の封筒(ボックス備え付け)に、あなたの住所、氏名を書き、62円切手をはってください。
③申請書・返信用封筒・手数料・代理人選任届(必要な場合)を備え付けの専用封筒に入れ、封をしてボックスに入れてください。



町長の主な動き(1月)

- 4日:始政式(公民館)
5日:町新春のつどい(公民館)
7日:チャリティゴルフ大会福祉号受領式(レイクウッドゴルフコース)
10日:剣道寒けいこ試合(武道館)・消防出初め式(山西小学校校庭)
12日:(仮称)健康スポーツセンター安全祈願祭(二色中里地区)
15日:成人祝賀式典(二宮小学校体育館)
17日:新春ロードレース大会(町内)
18日:県西部地域有線道路懇談会(ウイング小田原)
- 19日:大磯警察署武道始式(大磯警察署)
20日:医療連絡協議会・広報編集委員会(役場)
21日:湘南地区町村会定例会(寒川町)
22日:老人クラブ連合会三周年記念大会(社会福祉センター)
23日:地区と語るつどい(二色公民館)
24日:二宮テニスクラブ総会(武道館)
25日:平成五年度予算査定(役場)
28日:区長会新春のつどい

二宮の歳時記

立春の前日を「節分」といわれるようになった。川勾神社でも町内の年男が神(かみ)り大豆を門口や玄関先に向かつて「福は内、鬼は外」と大声で唱えてまき、邪鬼を追いつつという追い払うという習慣がある。近年、寺社においては知名人を年男にして、行われやうにされている。

節分祭

この辺りでは最近あまり見かけなくなりましたが、節分の日には門口に「ひいらぎ」の枝にいわしの頭を刺して掲げ鬼を退散させるという風習があった。

私たちは皆様の家庭医です!

②

「エイズ」の言葉はみなさんにとっても、マスコミ報道や公的機関等広報でよくご存知のことと思います。また、中・高等学校の性教育の一環として指導されていることも周知のことと思います。

だが、なぜそれ程までに恐れられ社会問題化しているのだらうか。それはエイズウイルスの特異性から、現在なお治療方法が確立しておらず、エイズ患者の予後が極めて悪く、六カ月で二十六％、一年で四十五％、二年で七十％、三年で八十％、四年では九十％が死亡している事実からです。(一九八七年厚生省報告。また異性間的接触による感染が主流となってきた現在、若い思年層は性的活動の活発な年齢層であり、また社会の経済活動を支える年齢層であり、子供を産む年齢層で

恐怖のエイズ

特徴があります。以上エイズが恐れられているゆえです。では、この恐ろしいエイズに対してどの様に対処したらよいのでしょうか。それは、感染経路が明らかになったことです。個人、個人がエイズを感染経路に対して正しい知識を持ってエイズより自分を守ることに以外に何もありません。感染は一、性行為、二、

血液(製剤) 三、母子感染が主な感染経路です。一、の性行為に対しては「安全なセックス」を心がけましょう。性行為の対象を安全な夫、妻、特定の相手とし、その他やむを得ない場合はコンドームを使用しましょう。二、の血液製剤等に関しては今日、世界の対策が進み開発途上国を除いては、ほとんどなくなっております。三、の母子感染は胎盤性、産道性、授乳性に百分の感染性が認められますが、この問題に関しては人道的、形而(じ)上の問題があり、助言はできませんが最終的には産婦個人の痛ましい問題が起る前に感染の主流である性行為に対して安全なセックスに心がけましょう。現在不安な文明社会です。若者たちが現実からの逃避を安易なセックスに求める傾向は避けられません。その様な下地にエイズは急速に広がっております。そうです、エイズは文明の病なのです。(安藤泰彦 先生 中郡医師会広報委員編集)

情報

お知らせ

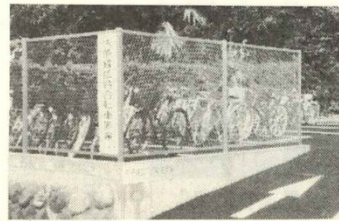
入学通知は届きましたか

教育委員会では、今年小・中学校に入学するお子さんの保護者の方に、1月25日付けで「入学通知」を郵送しました。該当するお子さんをお持ちの方で、まだ通知が届いていない場合はご連絡ください。

連絡先 教育委員会学校教育係(内線335)まで

自転車置場開設

二宮小学校西隣に新しい「臨時自転車置場」が開設されました。※台数に限りがあります。通勤、通学は徒歩やバスをご利用下さい。



福祉法改正による窓口等の変更

身体障害者手帳の交付や、補装具の交付、施設入所等の相談や事務手続きについては、現在県の福祉事務所で取扱っていますが、法律の改正により、4月1日より町役場で直接相談等を受けることができるようになります。

同じく、老人ホームの入所に関することについても、4月1日より町役場で直接相談等を受けることができるようになります。

問合せ 住民福祉課児童老人係(内線235)まで

標準小作料の改訂

町農業委員会では、適正な小作料の目安として、3年ごとに標準小作料の改訂をしています。このたび、改訂の作業が終了し、新しい標準小作料が決まりました。農地の貸借の際、参考にしてください。

○田、畑ともに10アール当り…15,000円

※農地の貸借をする場合、農業委員会への届け出が必要です。

問合せ 農業委員会事務局(内線255)まで

国土法監視区域の再指定

地価対策の一環として、国土利用計画法による監視区域が再指定されましたので、これからも従来どおり300平方メートル以上の土地売買などを行う場合は、届け出が必要です。

問合せ 都市計画課計画指導係(内線285)まで

今年こそ納税は口座振替で

●手続きは「預金通帳」と「通帳印鑑」を持って「役場税務課」または「金融機関」へ

●取扱金融機関は「中南信用金庫」、「横浜銀行」、「さがみ信用金庫」、「湘南農協」の県内各本支店

●取扱税目等は「固定資産税」、「町県民税」、「軽自動車税」、「国民健康保険税」、「国民年金保険料」

問合せ 税務課収税係(内線226)まで

一月二十三日(土)、午後七時より九時までの二時間にわたり、一色公民館にて「地区と語るつどい」が開催されました。この地区と語るつどいは、広聴事業として、町民の意向を聞き、町政に反映しようと計画されたもので、一色地区の要望により第一回目として開催されたものです。



地区と語るつどいを開催

当日は小雪まじりの悪天候にもかかわらず、四十四名の出席者がありました。西山町長より、平成五年度よりスタートする二宮町新総合計画、公共下水道計画の話のあと、出席者から、地域についての考え方、質問等があり、寒さを忘れるほどの盛り上がりを見せ、二時間のつどいを終了しました。

募集

広報モニター

町が発行している「広報紙」に対する、ご意見、ご感想をお聞かせください。

資格 20歳以上の町民の方 任期 1年
募集人員 10名 謝礼金 1万円程度
申込み・問合せ 企画室広報広聴係(内線325)

交通量調査アルバイト

内容 町内幹線道路の交通量調査

期間 2月下旬～3月中旬のうちの8日間

募集人員 2名

申込み・問合せ 生活環境課生活安全係(内線254)まで

二宮剣道部会員

小学生以上の方(男女は問いません)を募集します。なお、剣道経験者は随時入会できます。
受付期間 2月6日～3月13日までの毎週土曜日(午後2時30分～6時)

受付場所 武道館

問合せ 勝亦(☎72-4006)まで



お詫びと訂正

平成4年12月10日発行の「広報にのみや」に掲載の「体育の振興に尽力」され、文部大臣表彰を受賞された松本正義さんの紹介文の中で、後半の「野球協会の審判員も長い間勤められ、また、少年野球やソフトボール、バレーボールの各協会の設立にも尽力されました」の部分について、次のように改めさせていただきます。

「長年、町体育指導委員の職務につき、体育指導委員連絡協議会会長として、町民のスポーツの振興、町の事業に積極的に務められ、県体育指導委員連合会理事および会計監事として現在も活躍中」

なお、少年野球協会は、昭和47年一色在住の鈴木忠明さんが、自費によりユニホーム等を子供達に無料貸与して、気軽に野球に参加できるように、協会を設立いたしました。ソフトボール協会は、社会人野球協会の高木定雄さんを中心に、鈴木明さんなど有志の方々により約十年前に設立されました。

紙面をお借りしまして、お詫びして訂正します。

(教育委員会社会教育課)

老人性痴呆疾患相談

お年寄りの物忘れなど、痴呆(ボケ)の悩みに、専門の医師、保健婦が相談を受けます。

とき 2月16日(火)

午後1時30分～3時30分

ところ 保健センター

申込み 平塚保健所(☎32-0130)まで

痴呆老人を抱える家族のつどい

お年寄りの脳のリハビリを、家族の方と一緒にに行います。

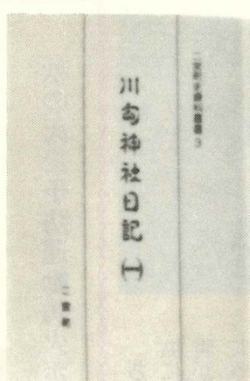
とき 2月19日(金)

午後1時30分～3時30分

ところ 平塚保健所 対象者 痴呆老人と家族

問合せ・申込み 平塚保健所健康指導課

(☎32-0130)まで



川勾神社日記は、歴代の神主によって書かれた「神社の生活史」ともいえるもので、大変興味深いものです。天明7年(1787年)～文化11年(1814年)まで収録。頒布価格 1500円— 限定100部—

川勾神社日記(1)

町史発刊のお知らせ

催し

さわやかいきいき講習会

—自分の食事に関心を—

とき 2月23日(火) 午前10時～12時30分

ところ 保健センター 募集人員 30名

献立 かぼちゃの中華風煮物 他4品

費用 300円 締切り 2月17日(水)

申込み 保健センター(☎71-7100)まで

しいたけ教室

県指導員による植菌の実習と栽培方法の講習

とき 3月2日(火) 午後1時30分～

ところ 町公民館 対象者 町内在住の方

定員 50名(先着順) 参加費 無料

受付 2月15日(月)より受付可

申込み 経済課農政係(内線254)まで

物価のうごき

1月分(前月比)

・鶏卵 -4円	・豚肉 +7円
L玉10個197円	モモ中肉100g 157円
・じゃがいも +23円	・灯油 -6円
1kg219円	18%配達料込み971円
・サラダ油 +12円	消費生活モニター
1kg454円	調査結果

町の人口(1月1日現在)

総数	29,891人(+18)
男	14,670人(+5)
女	15,221人(+13)
世帯数	9,589世帯(+14)

()内は前月との比較

固定資産税(第4期)

3月1日

国民年金保険料

3月1日

納税は あすの暮らしの 基礎づくり



本紙掲載写真は無料で差し上げます。ご希望の方は企画室広報広聴係(内線三二五)まで。

カメラ レポート



たこあげ大会より（井草清一郎さん—百合が丘在住—撮影）



あいにくの雨にも負けない笑顔がいっぱい（成人式）



休みの土曜日を、親子で楽しく過ごしました（一色小）

みんなの 広場

富士見が丘の信号から右手の土手は、多くの樹木で緑が美しい山ですが、秋になると落葉がはげしく、歩道に落葉がつもり雨が降ると歩きにくい場所です。ところが最近、初老のご夫婦と思われる方が、毎朝といつてよいくらい掃除をしてくださる姿を見受けれます。二十メートル程の距離を掃除するのは大変なことだと思っています。朝気温の低い中での作業は大変だと思えます。最近、新築された方がやってくださっているようで、思わず頭が下がります。本当にありがたいことだと思ひ、筆をこらせて頂きました。

（広報モニターさんより）

わが家のニューフェイス

今回紹介する赤ちゃんは、石塚良嘉さん、千恵美さん（二宮在住）の長女「香通（かすみ）ちゃん」です。パインアップルヘアーがチャームポイントで、お風呂が大好きなお子さんとのことでした。



府川ハルさん（富士見が丘 在住）

町内かわら版 ちよろなひかわらばん 町内かわら版

生涯スポーツの拠点に

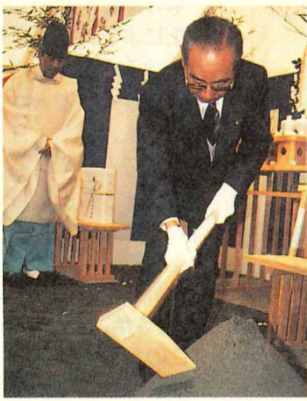
国際的な視野に立った奉仕活動を行うため設立された「二宮ライオンズクラブ」の、二十五周年を祝う式典が、昨年十二月に大磯漁港で盛大に催されました。二宮ライオンズクラブは、おはあちゃん大学の開設を始め、日頃より清掃活動や献血、交通安全など地域に密着した活動を続けています。



当日、ライオンズクラブの会長より町長に寄付金が手渡されました

奉仕活動を続けて25年

安全祈願祭が一月十二日に、一色中里土地区画整理組合造成地に隣接した建設予定地で行われ、来春のオープンに向け本格的な工事が始まりました。この施設は、生涯スポーツの拠点として、年間を通してみなさんに健康づくり、体力づくりの場を提供します。鉄筋コンクリート二階建ての施設には、二十五坪プール、気泡プール、幼児用プールおよび多目的ルーム、会議室などが作られます。（詳細は後日掲載。）



工事の無事を祈って

お年寄りが語る 関東大震災

秋の火災予防運動防火ポスターコンクールで特選に入賞した作品

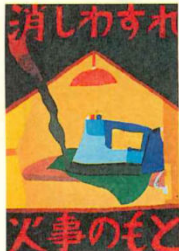


二宮西中1年 木内加奈子さん



二宮西中2年 横山貴子さん

3月1日(月)～7日(日)



一色小6年 梁井圭子さん



二宮小4年 菊地麻美さん



二宮中3年 徳田千歳さん



二宮小5年 野谷 浩くん

春の火災予防運動を実施

三月一日(月)より七日(日)まで「春の火災予防運動」を実施します。期間中、夜の九時にサイレンを鳴らしますので、就寝前の火の元点検をお願い致します。

確定申告・町県民税の申告は 3月15日(月)までに

◎町の申告相談
期 間 2月16日～3月15日
(土・日曜日を除く)
場 所 二宮町公民館

◎申告期間前の相談等

役場税務課にて行っています。また消費税の申告も受付けています。



※税理士による申告相談の日、2月号をご覧ください。



西山典男さん（山西）の作品

ちようどお昼を食べ終り、子供に乳を飲ませていたとき、地震が起きました。あつという間に家の前の方が壊れ、座つてもいられないくらい揺れました。

揺れている間は家から出る事ができず、おさまってから裏の方へ出ました。園芸試験場のバラの垣根にそつて、石を台にして床を少し上げトタン板で屋根を作つて一週間程暮らしました。飲み水は、井戸から汲んで沸かして使い、石でかまどを作つて煮炊きしました。余震のたびに、小さな赤ちゃんを抱き上げるので、子供はかんの虫を起こして夜も寝なくて、とても困りました。

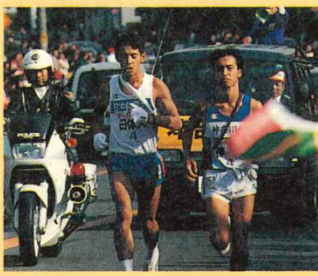
火災ゼロを願ひ（消防出初め式）



日本古来から伝わる長鳴き鳥の一品種「唐丸」（間島勝三郎さん—中里在住—が飼育されているものです）



激走！箱根駅伝（西山親司さん—二宮在住—撮影）



お手本を見ながら（書初め席書大会）